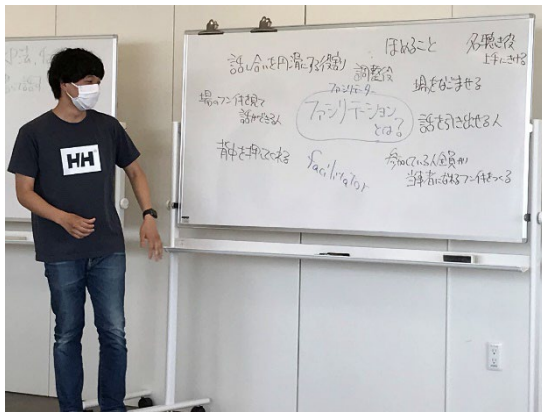


令和3年度 市民活動スキルアップ講座

はじめてのファシリテーション入門講座 実施報告書

令和3年7月9日
菊川市市民協働センター



■ 目次

I. 実施概要	P.2
II. 講師紹介	P.2
III. 講座内容	P.2～4
IV. 参加者アンケート結果	P.5～10

I. 実施概要

- 目 的：① ファシリテーションの基礎的なスキルを身につける。
② 高校生まちづくりスクールのスタッフのスキルをアップする。
- 目 標：明日から実践できるファシリテーションのスキルをひとつ以上身につける。
- 日 時：令和3年6月6日（日）13:30～16:30
- 会 場：菊川市役所庁舎東館プラザきくる 3階会議室
- 対 象：ファシリテーションに興味がある方
- 受講者数：20名
- 参加費：500円/人（資料代等）
- 主 催：菊川市市民協働センター

II. 講師紹介

一般社団法人トリナス 代表理事 土肥 潤也 氏（どひ じゅんや）



1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学社会科学部研究科修士課程 都市・コミュニティ論修了、修士（社会科学）。2013年から若者の社会・政治参加に関する活動に参加し、2015年にNPO法人わかものまちなちを設立。全国各地で子ども・若者の地域参加、政治参加に関わる研修や実践支援に取り組む。内閣府「子供・若者育成支援推進のための有識者会議」構成員。文部科学省「日独青少年指導者交流事業」派遣団。

III. 講座内容

1) オリエンテーション

① 講座目的の確認

講師から受講者に対して「体験から学び、明日から使えるファシリテーション・スキルを1つでも身につけること」との目的が示された。

② 自己紹介

受講者は3～4人のグループになり、以下4点について自己紹介し合いながら緊張をほぐした。

- ・名前、住まい
- ・今の気持ち
- ・講座に期待していること
- ・夏といえば〇〇

③ ファシリテーションとは

講師から、ファシリテーションとは「話し合いを促進したり調整したりする技法」との説明があり、自身の学生時代の経験からその重要性は高まっているとの話があった。受講者からは、早速話し合いの場での困りごとが寄せられ、「沈黙が続いた場合はどうするか」「話が長い人の対応方法」などの質問が投げかけられた。講師はこれに対して、「沈黙は決して悪いことではなく、考えを巡らせていることがある。指名して発言を促すとそれを阻害してしまう。質問を工夫してはどうか」とアドバイスした。また、話が長い人の対応については、「時間を公平にし過ぎると自然ではないので、場の雰囲気を見て対応した方がよい。話がまとまっていないようだったら、書いて整理してから発言してもらおうようにしたらどうか」と提案した。

2) セッション（合意形成の体験）

① 話し合いのプロセス

講師から、話し合いのプロセスには、共有⇒発散⇒混沌⇒収束⇒共有の段階があり、話し合いが今どの段階にあるのか理解することが重要との話があった。また、混沌から収束にかけての合意形成が難しいとした上で、話し合いにより合意できる部分が広がっていく「修正合意」の考え方について紹介があった。

② 良い話し合い、悪い話し合い

受講者は、それぞれが思う「良い話し合い」と「悪い話し合い」を紙に書き出し、3～4人のグループになってそれを共有した。

③ 合意形成の体験

③で共有した「良い話し合い」と「悪い話し合い」について、グループ内で合意形成を意識しながら話し合った。

④ 全体共有、シール投票

それぞれのグループで合意できた「良い話し合い」と「悪い話し合い」を全体で共有し、シール投票を行なった。

3) ふりかえり、質疑応答

最後に受講者全員で車座になって講座をふりかえった。また、質疑応答の時間も設けた。質問とそれに対する講師の答えは以下の通り。

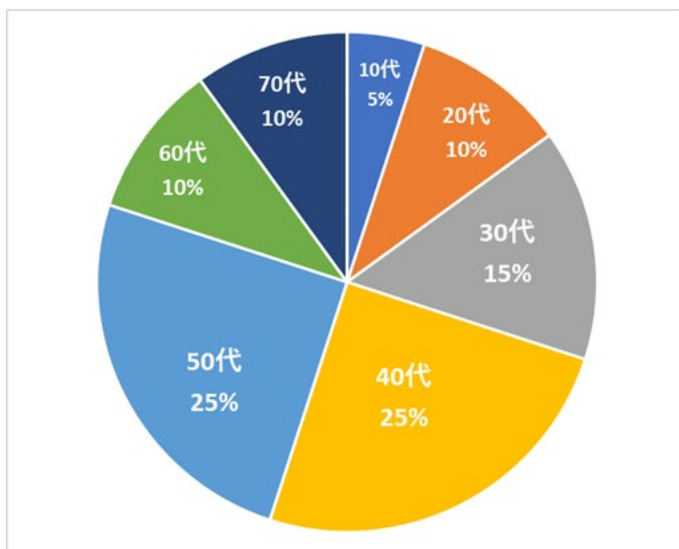
- ・ファシリテーターは明確にゴールを設定しない方がよいのか。
- ⇒ ファシリテーターとしてゴールは参加者に示し、それを意識して進めなければいけ

- ない。話し合いの状況に応じて、ゴールを手前に設定し直すことはある。
- ・立場が上の人と下の人との話し合いの中で、注意していることはあるか。
 - ⇒ もし下の人が上の人に意見を言えないのだとすれば、それは立場や年齢の違いが原因ではなく「関係」が影響している。「関係」がどうなっているかを見る必要がある。
 - ・否定的な意見を言ってもいいのか。
 - ⇒ 「否定（攻撃）」ではなく「批判」であれば、ファシリテーターとしては受け止める。注意点としては、中立の立場で理由を丁寧に聞くことと、感情と意見を分けること。

VI. 参加者アンケート結果

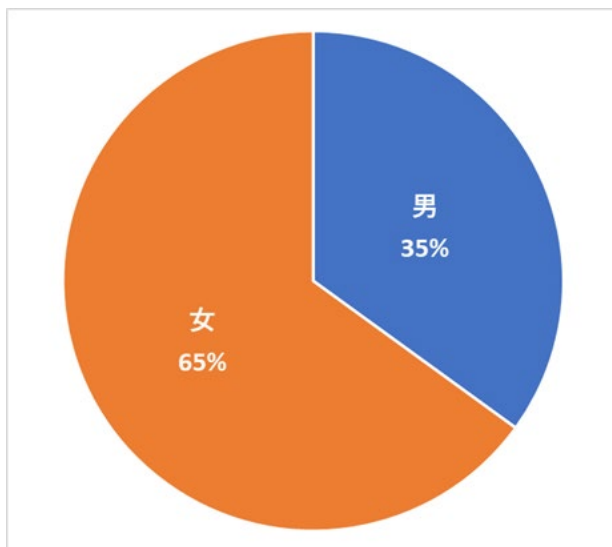
※回答者数 20 名（回答率 100%）

1) 年代



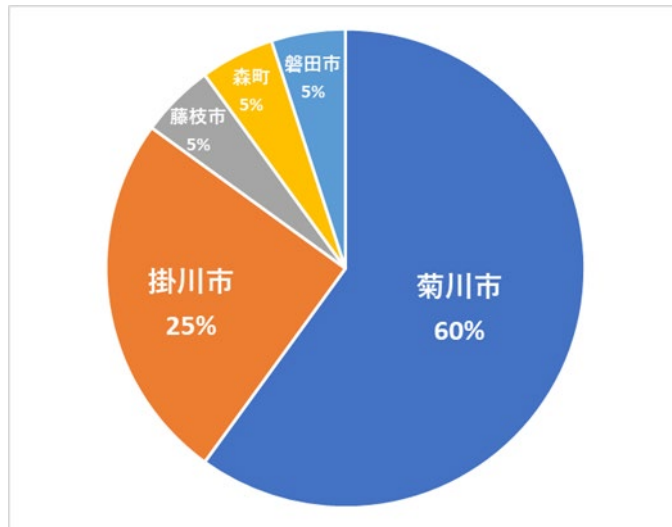
No.	年代	人数
1	10 代	1
2	20 代	2
3	30 代	3
4	40 代	5
5	50 代	5
6	60 代	2
7	70 代	2
	合計	20

2) 性別



No.	性別	人数
1	男	7
2	女	13
	合計	20

3) お住まい



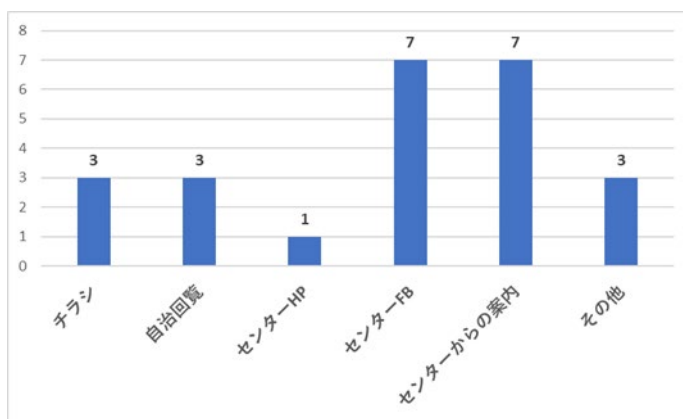
No.	お住まい	人数
1	菊川市	12
2	掛川市	5
3	藤枝市	1
4	森町	1
5	磐田市	1
	合計	20

4) 所属（職業）



No.	所属	人数
1	NPO	3
2	自営	5
3	会社員	5
4	公務員	4
5	学生	1
6	その他	2
	合計	20

5) 今回の講座を知ったきっかけ。（複数回答可）

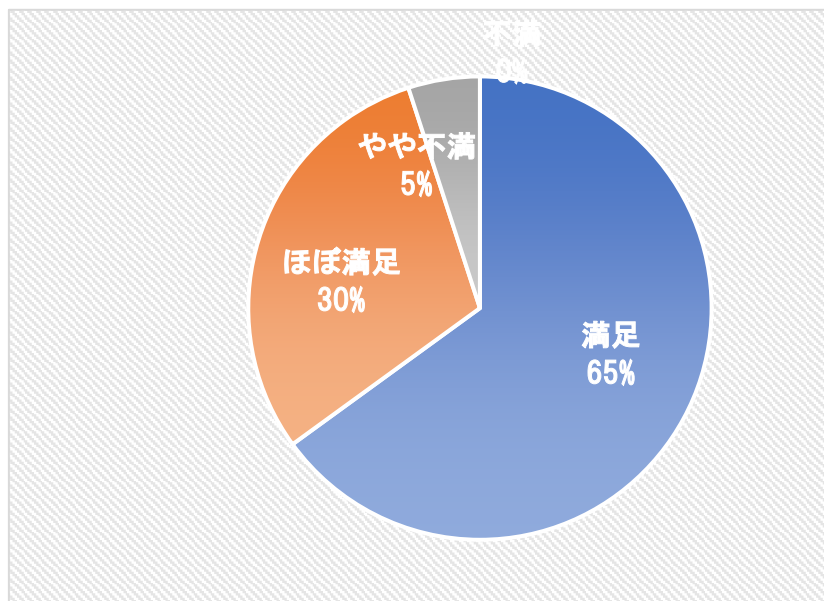


No.	情報元	人数
1	チラシ	3
2	自治回覧	3
3	センターHP	1
4	センターFB	7
5	センターからの案内	7
6	その他	3
	合計	24

6) 今回の講座に参加した理由やきっかけを教えてください。

- ・話す機会が多いが、うまく話ができない自分だったり、まとめるのが苦手だったので、何か具体的な方法を知ることができたらと思い参加した。
- ・人から出た意見をまとめることが苦手なので、少しでもヒントにつながることを学べたらと思い参加。
- ・進行する機会が多いので、よりスムーズに進行させるアイデアなど学べればと思い参加した。
- ・相手に上手に説明できるようになりたい、意見の出ない打ち合わせを変えたいため。
- ・職場での部下・同僚との人間関係の作り方の参考になればと思い参加した。
- ・団体を立ち上げ、ファシリテーターの立場で動くことが生じた。おしゃべりなおばさんではいけないので、1つでも2つでも取り入れたかった。
- ・まずは土肥さんの講座だから内容が理解しやすいだろうという気持ちになったこと。市民団体を立ち上げたため、打ち合わせやワークショップをする立場で役立てたいと考えたため。
- ・土肥さんの話に興味があり、ファシリテーションも自分に必要なスキルと感じ始めたので参加した。
- ・ファシリテーターに興味があり、そのノウハウなどを知って仕事に活かしたかったから。
- ・ファシリテーションの手法に興味を持っていたから。講師の土肥潤也さんに注目していたから。
- ・土肥さんの話の中で、ファシリテーションの重要性がよく出てきて気になっていた。
- ・笠原さんからお声掛けしていただいた。ファシリテーションに興味があったので、大変楽しみにしていた。今後の仕事に役立てよう頑張る。
- ・ファシリテーションを学びたかった。スキルを身につけたかった。
- ・ファシリテーションのスキルを習得したかったため。
- ・”ファシリテーション”の実際を知りたくて参加した。久しぶりの人が集まってる講座。
- ・もともとファシリテーションに興味があり、誘われたので参加した。
- ・2020年12月24日に市役所の方と”矢崎マルシェ”についてミーティングをした。市民協働センターからチラシをいただいた。ファシリテーターとしての経験がある。
- ・教養を身につけようと思った。いつもとは異なる視点で見る力を養いたかった。
- ・面白そうだったから。
- ・若い人（講師）との出会い。

7) 本日の講座の感想はいかがでしたか。



No.	感想	人数
1	満足	13
2	ほぼ満足	6
3	やや不満	21
4	不満	0
	合計	20

●「満足」と回答した理由

- ・体験を通して、合意形成の仕方がよくわかった。体験しながら納得しやすかった。
- ・実際に話し合いながら進んでいったのが良かった。
- ・ファシリテーションとは何かを知ることができて、方法もあるが、うなづく、丁寧に聴くなど、和やかな雰囲気づくりも大事だということがわかって良かった。
- ・特に、良い話し合い、悪い話し合いの部分が納得でき、参考にさせていただけたと思った。
- ・個別の相談にも乗っていただけた。あえてレベル設定を初心者にしたのが良かった。
- ・すぐに実践できそうなスキルを手に入れることができた。
- ・話し合いの楽しさを思い出した。スキルを知ることができた。
- ・講座自体の雰囲気が良く、土肥さんの話もちろん、たくさんの方のことを吸収でき楽しかった。
- ・考え方、ファシリテーションおもしろかった。
- ・とても深い内容でびっくりした。
- ・手法もそうだが、参加者のみなさんと話しながら、まさに一人ひとりがファシリテーターになり、良い時間だった。ありがとうございました。
- ・とても楽しかった。このメンバーで続編を実施できたらよいと思った。また、やってほしい。

●「ほぼ満足」と回答した理由

- ・ファシリテーターがどんなものか知ることができたが、もっと深いところまで知りたか

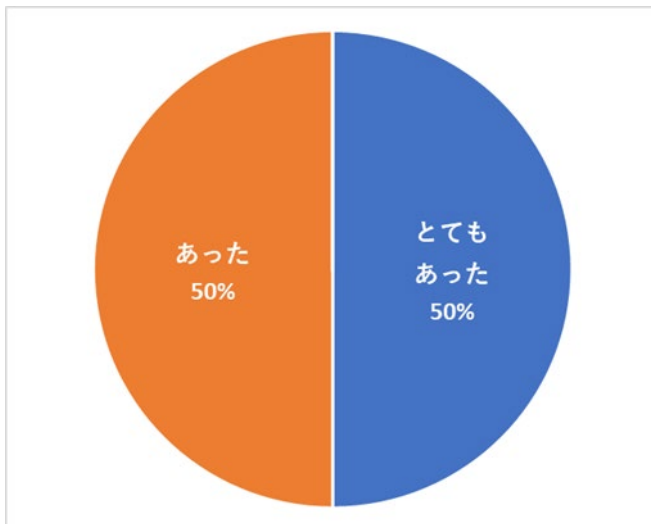
ったと感じた。

- ・自分はどちらかと言えば、結論ありきの結論へ上手に導きたい立場なので、少し違った。
- ・いくつかアイデアをいただいた。
- ・参考になった。
- ・しっかりと受けたいと思った。
- ・途中で退席して申し訳ありませんでした。

●「やや不満」と回答した理由

- ・たまたまだと思うが、ファシリテーションについての知識がある方がたくさん参加されていた気がするので、そもそもファシリテーションとは何かというところの時間があれば良かった。知らずに体験していたと思うが。

8) 受講したことで、学びや気づきはありましたか。



No.	学びや気づき	人数
1	とてもあった	10
2	あった	10
3	わからない	0
4	なかった	0
	合計	20

●「とてもあった」と回答した理由

- ・「少数派意見もエッセンス」の言葉が気に入った。また、全員が主体的に関わるためにゴールを明確にしたり、話し合いの内容を事前に共有しておくことも大切だと思った。
- ・まず、書いてから発表は、参加者にもよると思うが使っていきたい。また、再開の合図やタイムアウトの合図で“ティンシャ”を使ったのは良かったので、私も使おうと思う。
- ・会議にも共有や発散、収束などの場面があることに気づいた。ありがとうございました。
- ・体験しながら、話し合いをしながら共有することが“学び”になることを知った。
- ・どんなことに気をつけてファシリテーションを行えばよいか、事例も多く聞けて実践したいと思った。
- ・すぐに実践できそうなスキルを手に入れることができた。
- ・凝り固まった頭が良いものになった。

- ・いつもは講師だが、意見交換の場に入ることができた。基礎知識が無い人でも主張したり質問したりするのだなと思った（良い意味で）。こういう意識は高く発言するけど勉強していない方へのファシリがとても難しいと実感した。
- ・鈴木まり子さんの講座を受講したことがある。土肥さんのお話しと重ねながら、ありがとうございました。まずは夫婦間を見直したいと思う。

●「あった」と回答した理由

- ・先生の話の中で良いと感じたワードが多くあった。
- ・書いて話すを取り入れたいと思う。
- ・正と誤、採用と不採用といったデジタル的でなく、話し合いで修正していくことが大事だと再認識できた。
- ・合意形成というやり方があるのだなと気づき、意見をまとめる際に使いたいと思った。
- ・どの仕事も共同作業。集まった人が、能動的に心開いて何かを作りあげていく。そのためには手法が必要で、そのきっかけをいただけた。
- ・人間関係が大切だと学んだ。
- ・否定的な意見も取り入れ、聞き役になる。
- ・たくさんいろんな視点で勉強になった。
- ・いろいろな意見が聞けた。
- ・現実が悪い話し合いばかりなので、改善の必要性を感じた。

9) 今後の講座で取り上げてほしいテーマがあればご記入ください。

- ・ファシリテーションとは何か。
- ・ファシリテーション初級、中級、上級も学びたい。また、高校生との対話などで実践していきたい。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・今回のような話す、聞くのテーマ。
- ・悪い話し合いの解決方法、具体的な対策。
- ・ファシリテーション講座はまた参加したい。
- ・コーチングやティーチングについて。
- ・まだまだコロナ禍で感染予防しながら”人と出会って話す”機会を作っていただいただけで嬉しい。老後を考えるシリーズはいかがか。年金、生きがい、健康、遺産相続、遺言等々。
- ・中学生に向けてこの内容で話してほしい。宜しくお願いします。
- ・この続きを開催してほしい、このメンバーで。
- ・第2回講座をお願いします。

ひとが、組織が元気になる!!

はじめてのファシリテーション 入門講座

自分の考えが思うように伝わらない

会議の参加者の意見が思うようにまとまらない

会場でだれも意見を言ってくれない

そんな悩みを持ったことはありませんか。

ファシリテーションとはそんな対話のもやもやを解消し、人と人とのつながり
やスムーズなコミュニケーションを後押しするための方法です。

体験型の講座から、一緒にファシリテーションを学びましょう！



2021. 6

6

日

13:30 ~ 16:30

菊川市役所東館
プラザきくる3階会議室

定員 20名

参加費 500円
(資料代等)

対象 ファシリテーションに興味がある方
どなたでも



講師 コミュニティファシリテーター 土肥潤也氏

一般社団法人トリナス 代表理事、NPO 法人わかものまちな
みんなの図書館さんかく館長、内閣府若者円卓会議

1995年、静岡県焼津市生まれ。

ひとが集まるコミュニティの場づくりと、そのアドバイスをしている。



申込み方法

氏名、所属団体、住所、電話番号、メールアドレスをご記入の上、メールまたはFAXで申込みください。
右のGoogleフォーム(QR)からも申込みいただけます。

申込み・問合せ

菊川市市民協働センター ☎439-8650 菊川市堀之内61 菊川市役所東館 プラザきくる2階
メール: kikucen1@sage.ocn.ne.jp TEL/FAX: 0537-35-2220 申込みフォーム(QR)▶

